

学校名 川口市立新郷南小学校
所在地 川口市江戸3丁目12-1
電話 048-281-5777

1 本校の概要

本校は、「夢をはぐくみ 学びを拡げ 未来にはばたく 南っ子の育成」をキャッチフレーズに児童の育成をしている。昨年度に引き続き学校図書館のバーコード化に取り組み、学校図書館の活性化を図っている。読書活動では、PTAや保護者の協力もあり、新書の購入も積極的に取り組んでいる。

読書紹介や児童による読み聞かせなど本校ならではの取組を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・学校図書館の情報センターとしての活用
- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

ア 調べ学習・学校図書館司書の活用

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、ビブリオバトルの取組を考え、「しんニャン読書紹介」を行った。昨年度と比較して、読む本の内容が変化し、ページ数の多い読み物を選ぶ児童が増えた。

司書教諭と学校図書館司書が年度当初に行ったオリエンテーションでは本の配架や、日本十進分類法についての指導をクラスごとに行った。学校図書館に新たに新聞コーナーや、情報共有スペースを設け、情報センター機能を充実させたため、児童は調べ学習など積極的に取り組むようになった。

イ 「しんニャン読書紹介」の取組について

読書紹介は、ビブリオバトルへの準備段階として取り組んだ。読書の推進や、本の紹介をすることで表現力や読む・聞く力の習得を目指して行った。

昨年度から好評で、児童の読書に関する意欲が高まり、今年度も取組を行った。



本校キャラクター
しんニャン

読書紹介の手順

- ①読書紹介の記入（全児童）
- ②クラスでチャンプ本の投票
- ③感想・意見の記入（全児童）
- ④図書委員会で投票の集計
- ⑤チャンプ本児童の掲示・購入
- ⑥児童集会で発表（放送）

ウ 児童による読み聞かせの実施

委員会活動では、新しく1～3年生を対象とした「読み聞かせ」実施した。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 今年度すでに9,500冊の貸出を行った。昨年度より1類、2類、4類、9類の貸出が増えているのを見ると、科学読み物、伝記や歴史、文学を読む児童が増えている。貸出冊数は減っているが、読む本の内容が多様化していることが分かる。

また、情報センター機能を強化したことにより、学校図書館で調べ学習をする児童が増えた。特に高学年は、総合的な学習の時間とも合わせて学習を進めている。

読書活動を進める上で、ほとんどの本を読みついている児童や、新刊を楽しみにしている児童も多くいるため、引き続き購入を検討していきたい。

令和2年6月～12月	令和3年4月～12月
10,544冊	9,459冊

	1類	2類	4類	9類
令和2年度	7	19	259	83
令和3年度	36	81	279	407

イ 読書紹介の取組をすることで、自分の思いを表現する力が高まっている。しかし、読書感想文で思いを形にできない児童も少なからずいるため、学校図書館にポイントを掲示するなど工夫していく。



(2) 課題

ア 各学年での年間指導計画に基づく指導や学校図書館司書との協力体制を充実させる。

イ ビブリオバトルの開催を目標に、読書紹介などの取組を行い、児童が本に触れる機会を増やしていく。

ウ 情報センターとして児童が授業等で活用できるよう資料を充実させる。

(3) おわりに

様々な取組を行うことによって、昨年度と比較して児童の読書への関心が高まっている。今後も学校図書館の活用方法を創意工夫し、本との関わりを増やし読書好きの児童を育てていきたい。